Excelとメールでタスク管理をしている方は必見

チームのタスク管理を backlog by nulab に乗り換えている理由

nulab

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

目次

01 タスクを管理する時のよくある悩み 3

02 Excel でタスクを管理するメリット・デメリット 4

03 ExcelとBacklogでタスク管理を比較 6

04 Backlogを使うと業務が変わる 10

05 お客様の成功体験 11

06 Backlogの特徴 17

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

タスク管理をするときに

こんな課題はありませんか？

1

最新情報が錯綜する

どのExcelが最新かわからなくなる

2

探索に時間がかかる

メールのやりとりの回数が増えれば件数も増加し、受信ボックスから探すのに時間を要する

3

更新箇所が分からない

どの箇所を更新したのかが分からず、更新した箇所をメールで共有するというムダが発生する

4

ファイルが開かない

ファイルが重くなって、開かなくなることがある

5

連絡手段がバラバラ

メールやチャットなど、個人がバラバラの連絡手段を使うため情報が分散する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Excel でタスクを管理するメリットを解説

アクセシビリティが高い

Excelは既に導入している企業が多く、そのため新しくタスクを管理するツールを購入する必要がないので、追加コストがかかりません。

教育コストがかからない（使い慣れている）

Excelは一般的にも広く使われているツールであり、使ったことがある人が多いツールです。そのため、基本的な操作であれば誰でも使えるので、教育コストがかかりません。

自由にカスタマイズができる

Excelは自由にカスタマイズができるので様々な業界で利用することができます。ガントチャートなどもExcelで作成可能です。また、プロジェクト管理、タスク管理以外の領域でも利用することが可能です。

アクセシビリティが高く、高いカスタマイズ性で低コストで手軽に利用できる

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Excel でタスクを管理するデメリットを解説

更新箇所が分からない

Excelでタスク管理をしていると、どのセルを修正したのかが分からないケースがあります。更新箇所を分かりやすく伝えるため色を変えたり、メールで共有するなどひと手間がかかります。

最新ファイルが分からない

Excelで作成したタスク管理表は、ファイル単位で運用されます。ファイルを誰がどの時点で更新したのかが把握できていないと、どの管理表が最新版なのかが見分けられなくなってしまいます。

共有しにくい（メールやチャットを利用）

Excelでタスク管理をしていると、共有する際にメールかチャットを利用することが多く、煩雑になります。そのため管理状況が分からなくなり、作業効率が下がる可能性もあります。

最新ファイルや更新箇所の特定が困難で、確認に手間がかかり業務効率が低下する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

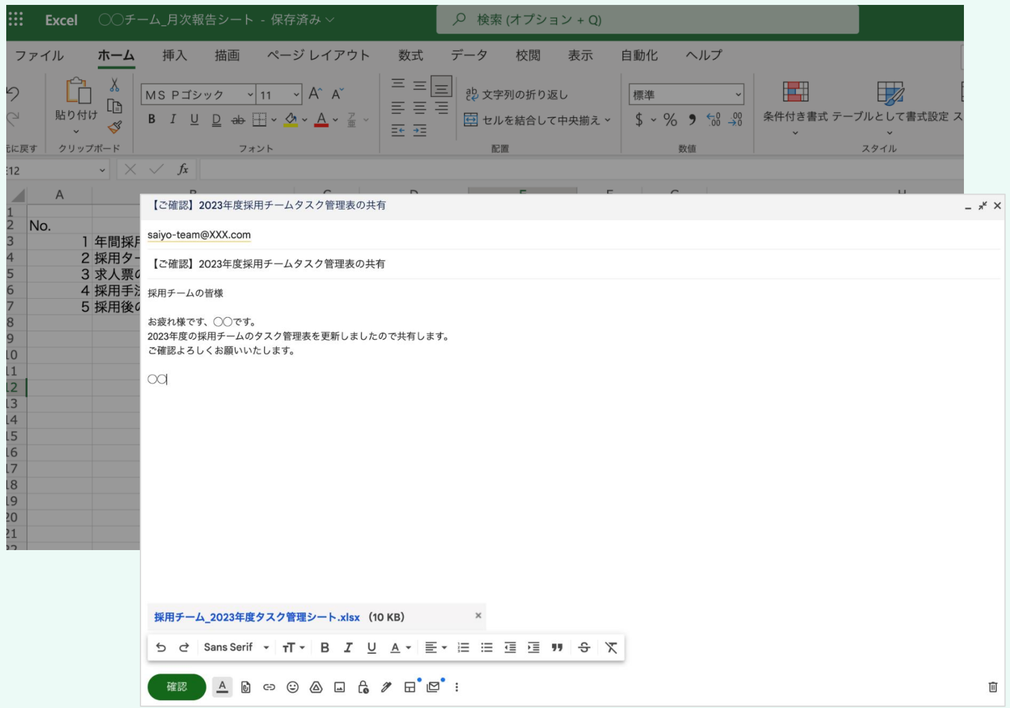
Excelとbacklog by nulabでタスク管理を比較すると…

	Excelの場合	Backlogの場合
情報の更新	ファイルを更新してメールで報告	更新履歴が残るため 毎回報告をする必要がない
情報の共有	最新版のファイルをメールで共有	リアルタイム更新なので 最新版を探す必要がない
タスクに紐づくコミュニケーション	メールを遡って探さなければいけない	タスクに情報が紐づくため メールを探す必要がない

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

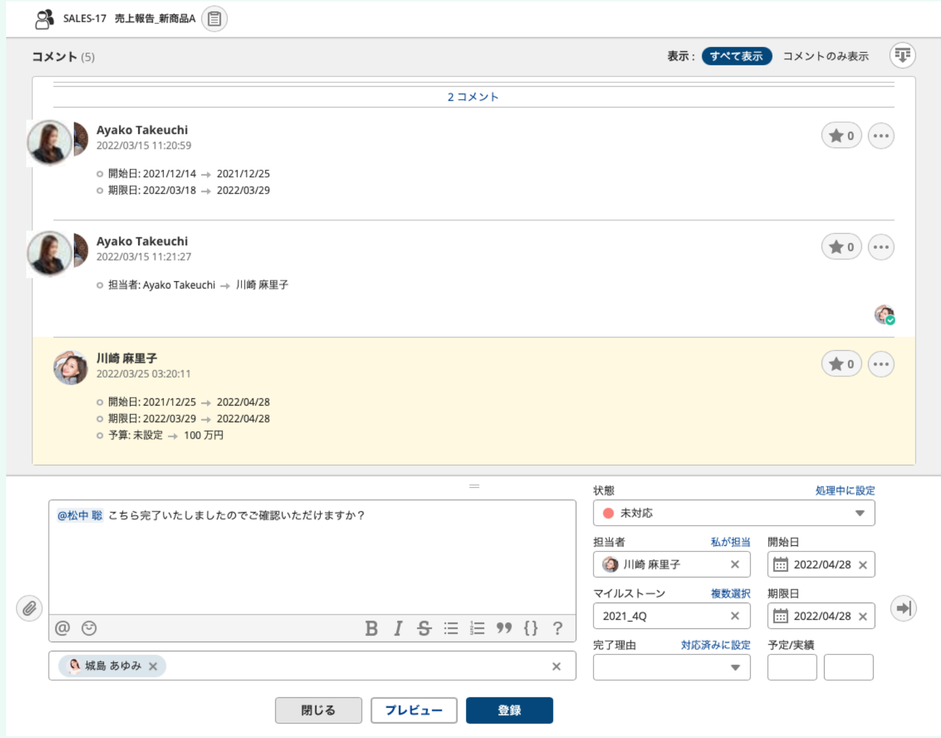
タスクの更新、共有、コミュニケーションを一か所に集約

Excelを更新してメールで共有



バラバラの連絡手段を使うことで情報が分散し
連絡漏れやタスク漏れが発生しやすくなる

Backlog



タスクごとに更新、コミュニケーションの履歴が
自動で残るので、タスクの抜け漏れがなくなる

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

backlog を使うとExcelのデメリットを解消！

Excel なら

- 進捗状況が分からない
- 最新版が分からない
- 更新されているか分からない

backlog なら

- 業務が見える化されるので、スケジュール進捗を手間なく把握
- リアルタイム更新なので、常に最新版
- 「いつ」「誰が」「何を」したのかが履歴に残る

確認や連絡をする必要がなくなり、無駄な時間を大幅削減！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

backlog を使うとメールのデメリットを解消！

メールなら

- 件名がReReReとなり、何の話をしていたのか分からない
- 大量のメールの中から検索をするのが大変
- 送ったメールを読んでくれたかわからない

backlogなら

- 1つの課題につき、1テーマで進めることで情報整理ができる
- 過去のやり取りは課題と一緒に残るため、検索しやすい
- 未読・既読機能があるため、相手が読んでくれたか分かる

タスクに関するメールが集約化されて、無駄な時間を大幅削減！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

backlog by nulab を使うと業務が変わる！

工数削減

Excelとメールでの更新と共有による手間が省ける

本来専念すべき事業運営に集中できるため、業務効率アップやマネジメント力アップにつながります。手書きやExcelでタスクを記載したり、更新した箇所を探す、更にはメールでExcelを共有するといった手間がかかります。Backlogを導入すると、それらの作業コストが大幅に削減できます。

ミス防止

Excelとメールでの更新と共有によるミスが防げる

Excelではタスクの記入漏れがどうしても発生してしまうものです。タスクの記入漏れは大きなインシデントにつながる可能性があり、ため息をつくケースも少なくはないでしょう。入力作業や仕訳作業を細かく設定できるBacklogであれば、記入漏れによるミスを防ぐことができます。

共有が簡単

社内外との情報共有が簡単にできる

必要な資料をまとめて共有する作業や、戻ってきたものを受け取ってチェックする作業に時間を取られてしまいます。Backlogであればタスクに紐づくコミュニケーションとデータの共有が簡単にできるようになります。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

導入事例｜CASE 01

キリンホールディングス株式会社

メールからExcelに転記する手間が激減。複数プロジェクトの可視化に成功！

キリンホールディングス株式会社の情報戦略部DXP（デジタルエクスペリエンスプラットフォーム）チームは
Backlog導入で複雑化するタスク管理を改善することに成功。
ガントチャート、バーンダウンチャートを活用して進捗状況の可視化を実現しました。



業　　種：食品メーカー
利用部門：情報戦略部DXPチーム

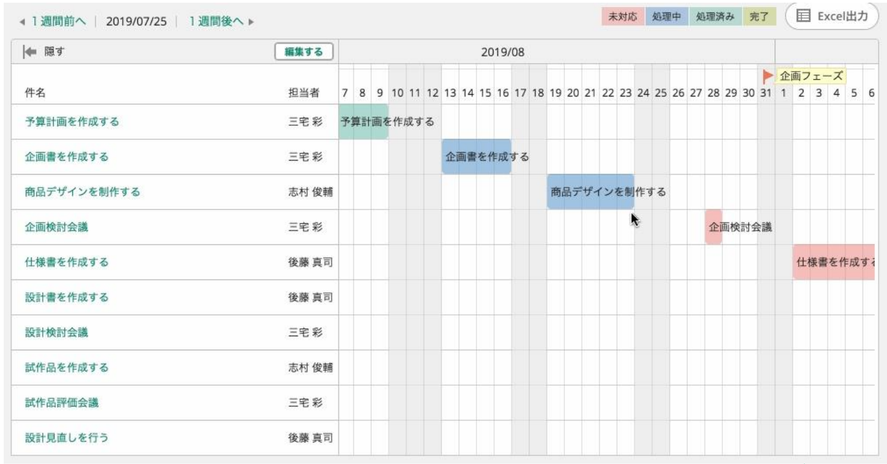
	Backlog 導入前	Backlog 導入後
コミュニケーション情報管理	■ 各所からのメールの依頼が膨大で対応が必要なタスクが埋もれる ■ 対応履歴、必要な情報を探るのに時間がかかる	■ 膨大な情報が整理され、タスク管理が容易に ■ 必要な情報、履歴が見やすく、簡単に追えるようになった
タスク管理	■ メールからエクセルへの転記の手間がかかる ■ どれだけ注意しても記入漏れが発生	■ 依頼がBacklogで来るようになったので転記の手間がかからない ■ 記入漏れ等のリスクがなくなり運用の質が向上

キリンホールディングス株式会社はキリンビール、キリンビバレッジなどを傘下に持つホールディングカンパニー。情報戦略部DXPチームでは、各事業のマーケティング部門や広報部門から上がってくる様々な課題をICTを活用して解決する業務に取り組んでいる。

よろこびがつなぐ世界へ
KIRIN

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

“複雑化していたタスク管理がBacklog導入で改善されました”





各課題の始まりから完了までをひと目で把握できるガントチャートは開発プロジェクトの進捗管理に便利

Backlog導入前は、どのような問題が起きていましたか？

タスク管理の複雑化ですね。というのも、Backlog導入前は複数プロジェクトに関する情報が全て“メール文化“で動いていました。メールで作業依頼が送られてきて、その情報をエクセルに入力して、タスク管理を行なっていました。

しかし、依頼量自体も膨大で、どれだけ注意していても記入漏れなどが発生し、案件を進めるのに支障が出ていました。

課題はBacklog導入後にどのように改善されましたか？

劇的に改善されました。Backlogは案件ごとにプロジェクトを作ることができるので、膨大な情報を整理しやすく効率よく探せます。

Backlogに切り替えたことで、膨大なメールに埋もれていた情報と履歴を簡単に追えるようになったので、メールの情報からエクセルに転記する手間と記入漏れが激減しました。

Backlog運用の工夫としては、あえて利用する機能を絞り込んでいます。Backlogはプロジェクトに対して細やかな情報、つまり件名、本文、担当者なども入力できますし、さらにはマイルストーンの設定も可能です。確かにそれらの機能は便利なのですが、入力漏れが発生しないとも限らない。また、管理側も管理しにくい側面が出てくる可能性もあるため、シンプルな運用を心がけています。

Backlogは使い方を学ぶ必要がないほど直感的に使えるので、メールからBacklogへの移行もスムーズに行うことができました。

チームでの活用方法を詳しく教えていただけますか？

一番多いのはプロジェクトやタスク管理ツールとしての活用ですが、インシデント管理ツールとしても重宝しています。例えばDXPチームのシステムサービスの領域では、トラブルが発生した現象や相談ごとなど、対応の進捗状況を全てBacklogの課題として作成、リーダーの承認、解決までを課題上で管理しています。

また、社内外含めて多くの関連部署とのコミュニケーションが発生するような案件でもBacklog活用のメリットを感じます。導入ハードルが低いため、システムになじみのないメンバーでもすぐに使い始めることができます。Backlogを活用して各事業会社と連携しながら、更なる業務効率化につなげていきたいです。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

導入事例｜CASE 02

株式会社アダル

無駄なメールリレーはゼロ！老舗業務用家具メーカーのデジタイゼーション

Backlogを社内のシステム基盤とした株式会社アダル。
1日20件は発生していたメールリレーをゼロに、アナログ業務のデジタル化・部署間コラボレーションが加速しました。
海外販路拡大のための新規ブランド立ち上げにおける部署間連携のワークフロー構築にも Backlogを活用しています。



	Backlog 導入前	Backlog 導入後
コミュニケーション情報管理	■ 電話でのタスク共有による認識齟齬の発生 ■ 修正更新のためのコミュニケーション、多い時で1日20件のメールリレーなど、情報共有がスムーズでない	■ コミュニケーションミスが大幅減 ■ 度重なる確認が減り、定例会議は導入前の 25%
タスク管理	■ 内容変更・期限の調整などエクセルによる情報更新に手間がかかる ■ メールにおける読み忘れ、過去の履歴を検索する手間	■ スケジュールと担当者が可視化された ■ 情報共有がスムーズに。メンバーが共通認識をもてる

業　　種：業務用家具メーカー
利用部門：IT 事業室、経営企画室、企画開発室、営業本部（広報 / PR、アートディレクター、プロダクト制作、セールス）

1953 年に創業された福岡発の業務用家具メーカー。国内には15 拠点、海外では中国に提携会社として生産工場をもっており、福岡にも総合工場があります。社員数288 名で、そのうち120 名が工場勤務、120 名が営業、40 名がプランニン グ・経営企 画・管理部となっている。

はたらく家具をつくる
ADAL
ADVISER FOR AMENITY LIFE

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

“部署間の業務遂行やチーム連携がとてもうまくいくようになりました”

――― Backlog導入前は、どのような問題が起きていましたか？

業務に関する情報を一元管理し、情報に素早くアクセスできるツールがなかったため、タスクの重複、遅延、自然消滅が多発していました。

また、エクセルで作成した工程表の修正対応や進捗管理にともなうコミュニケーションに半日かかることもあり、データ管理に時間を費やさざるを得ない状況を改善したいと考えていました。

Backlog導入前は業務コミュニケーションにメールを使っていましたが、1日に20件もメールで修正依頼をしたり、複数のエクセルデータを送付したりすることが日常茶飯事でした。

――― 課題はBacklog導入後にどのように改善されましたか？

Backlogを導入し、仕事やタスクベースでコミュニケーションを進めることになったので、メールのように情報が散在するということはなくなりました。

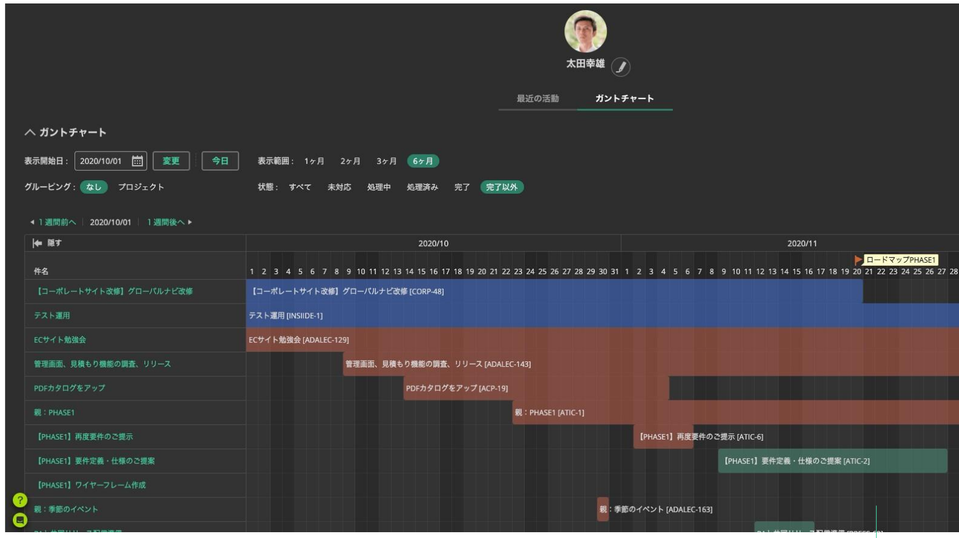
また、仕事やタスクベースでコミュニケーションを進めることになったので、メールのように情報が散在するということはなくなりました。対応すべきタスクを明確に可視化できるようになったので、作業状況が見えないことからくる“心理的なあせり”はなくなりましたね。

情報共有についても、メールだと確認しない人が一定数発生してしまい、実際に確認してくれたのかどうかがわからないという問題がありました。Backlogには通知機能があって、相手が内容を確認した場合アイコンにチェックが入るので、「情報が伝わっていることがわかる」という安心感があります。

――― Backlog を導入して起きた業務マネジメントの効果について教えてください。

タスクの優先順位を明確にできるようになり、経営層からタスクを依頼されたときに、自分のタスクの逼迫状況やプロジェクトの進捗を建設的に説明できるようになりました。

Backlogのガントチャートをアダルのサイトの構築プロジェクトで活用しているのですが、社内のマネージャー陣から「各人の業務対応状況が可視化されて、何に詰まっているのかわかりやすくなった」という声もあがってきています。





経営企画部IT事業室の太田幸雄さんの1ヵ月間のタスク状況を一見できるガントチャート。
Backlogは個人の業務対応状況をタイムラインで確認できる

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

導入事例｜CASE 03

ダイヤ工業株式会社

エクセルからの移行でタスク管理表を探す手間が削減！さらに業務の属人化も解消

ダイヤ工業株式会社ではDXに向けた取り組みを行う上でプロジェクト・タスク管理ツールとしてBacklogを導入。
個人で管理されるタスクは進捗状況が見えにくく、チーム間のみならずプロジェクト内でも連携が取りにくかったが、
導入後は、部門やチームを越えた連携がしやすくなり、プロジェクトの動きが円滑に！



業　　種：医療用品メーカー
利用部門：全社で利用

	Backlog 導入前	Backlog 導入後
コミュニケーション情報管理	■ タスクの管理が個人に任されていたため、誰が何をしているか見えておらず、業務が属人化していた	■ 担当者に聞かないとわからない状況から、Backlogを見れば誰でもわかる状態に変化した ■ 部門ごとの状況が明確になり、会議がスムーズに進行していくようになった
タスク管理	■ 個々でExcelなどでタスクを管理しており、進捗状況が見えにくく、チームでの連携が取りにくかった	■ Backlogが共通のツールになったことで部門やチームを越えた連携がしやすくなり、プロジェクトの動きが円滑になった ■ 目に見えてタスクが減っていくので、前進していると実感を持てるようになった

ダイヤ工業は創業60年の医療用品メーカーです。研究開発、設計、製造、販売まで自社で一貫して行っている。

同社が目指すのは「健康」の提供ではなく、「健康だから○○できる」という健康のその先にある楽しみを提供すること。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

“Backlogは汎用性が高く、どのような業務にも活用できる柔軟性があります”

―― Backlog導入前は、どのような問題が起きていましたか？

プロジェクトの進捗管理は、エクセルでタスク・スケジュール管理を行っていました。担当者やプロジェクトチームごとにフォーマットが異なっていたため、フォーマットに慣れるまで時間がかかったり、それぞれ自分のタスクしか認識していない状況も起こり得る状態でした。

結果として全体のタスクの見える化が出来ないままになっていた事もありました。

―― 課題はBacklog導入後にどのように改善されましたか？

全社共通で言えることは、タスクの「見える化」ができるようになったことです。担当者に聞かないとわからない状況から、Backlogを見れば誰でもわかる状態に変化しました。Backlogでは担当者や更新履歴が自動的に記録されますし、優先度に応じたタスクがひと目でわかるので、対応するスピードも向上しました。

DXプロジェクトにおいても同様のことが言えます。Backlogの活用によりメンバーそれぞれの考えを共有できたこと、そしてタスクの進捗状況がリアルタイムで確認できるようになったことで、部門を横断しての連携がスムーズになりました。

Backlogに登録したタスクを完了にすると目に見えてタスクが減っていくので、前進していると実感を持てることも良いと思います。

Backlogをプラットフォームとすることで、プロジェクト全体の動きが良くなりました。

―― Backlog活用によるメリットはどういった点にあるとお考えですか？

Backlogは汎用性が高く、かつどのような業務にも活用できる柔軟性があります。

その中でもとくに当社では、部門を横断するプロジェクトや、テレワークのメンバーがいる部署でBacklogのメリットをより強く感じました。

たとえば、部門長の週次報告用のプロジェクトを作成し、全部門の進捗確認を行っています。Backlogを活用することで、部門ごとの状況が明確になり、会議を行う際も事前情報がわかっているのでスムーズに進行していくように思います。





Wikiを活用してプロジェクトの目的やメンバーの役割を確認できるようにして、メンバーの共通認識を図っている。

※今後Backlogでは、「Wiki」で提供しておりましたナレッジ共有機能を「ドキュメント」に集約してまいります。詳しくはお知らせをご覧ください。

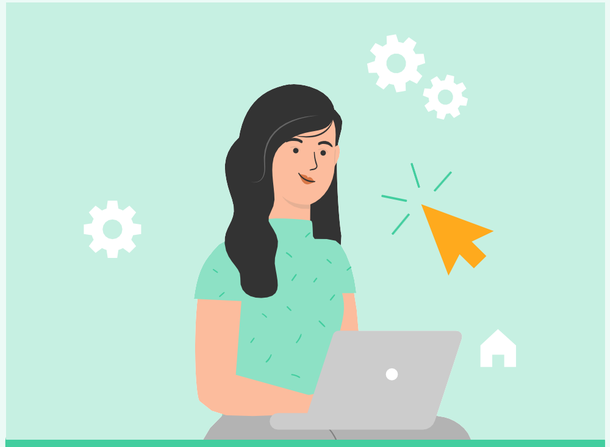
© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

backlog by nulab の特徴



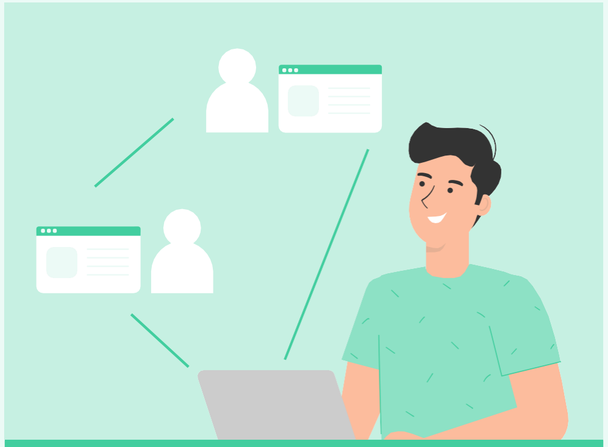
© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

backlog by nulab なら驚くほど「簡単に」プロジェクト・タスク管理ができる



シンプルな画面（UI）

直感的で
ユーザーフレンドリーな
デザイン



進捗状況を視覚的に管理

チームメンバーの担当作業と
進捗状況が
簡単に見える化



コミュニケーションのストレスの減少

コミュニケーションが
スレッド形式なので
ストレスがない

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlog の特徴

01

シンプル
UI

誰にでもわかりやすく使いやすい
シンプルなUI



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlog の特徴

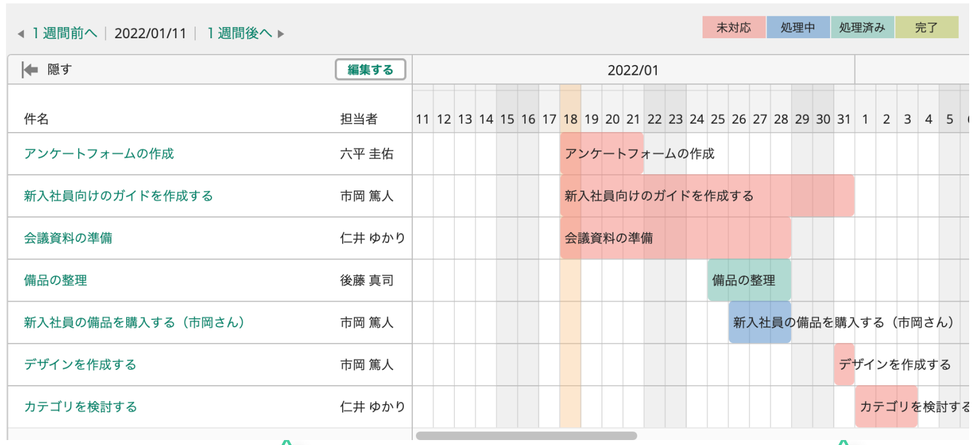
02

進捗状況を視覚的に管理

各課題の期限やマイルストーンを登録すると ガントチャートとバーンダウンチャート[*1]が自動生成

ガントチャート

＼ 誰が何をいつまでに完了させるのか分かる／

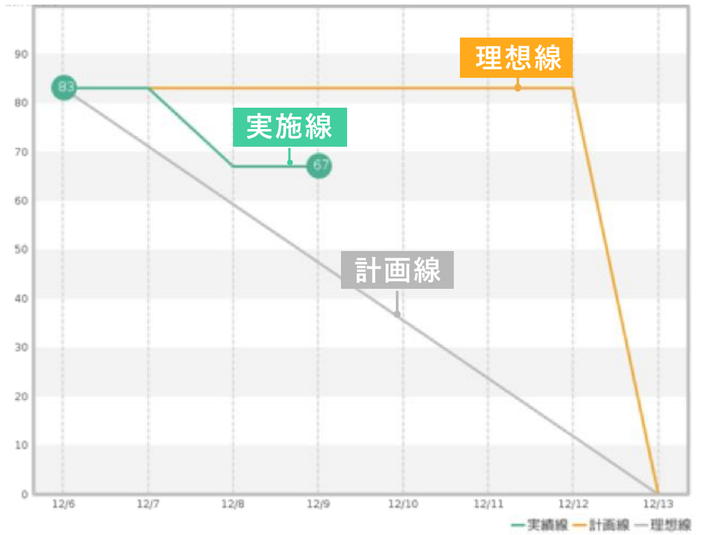


エクセルでのダウンロードも可能

納期が一目でわかる

バーンダウンチャート

＼プロジェクトの進捗状況が直感的に把握できる／



予定通りプロジェクトが進んでいるか分かる

残りの作業量とその作業を行うための時間が分かる

※1 スタータープランではガントチャート・バーンダウンチャートの自動生成ができません。ご注意ください

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlog の特徴

03

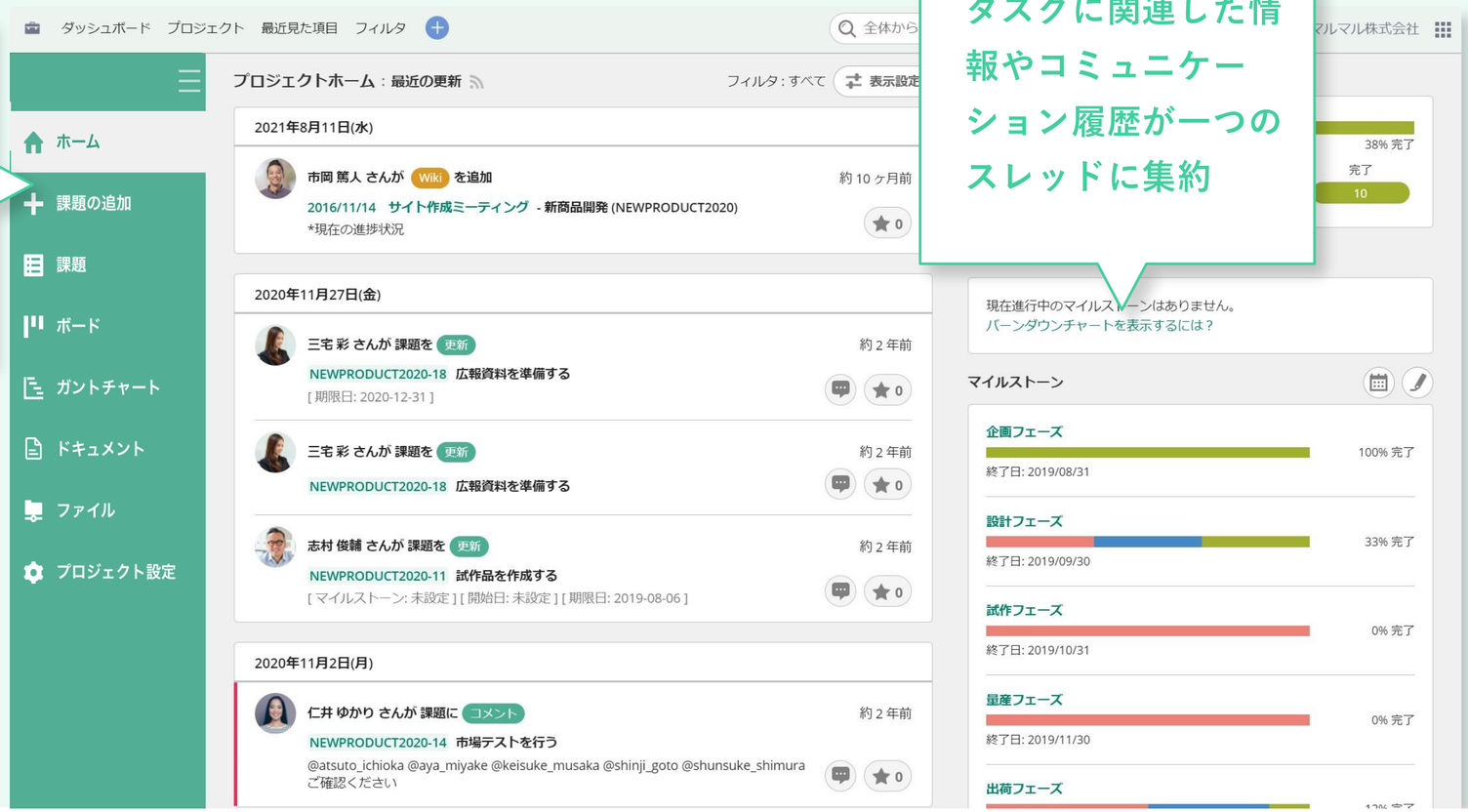
コミュニケーション
ストレス減少

タスクごとのスレッドで
重要な内容が埋もれない

社内メンバーだけでなく取引先など社外の人ともコメントのやり取りが可能！

タスクに関連した情報やコミュニケーション履歴が一つのスレッドに集約

292 種類の絵文字や「いいね」の意味を込めたスター機能

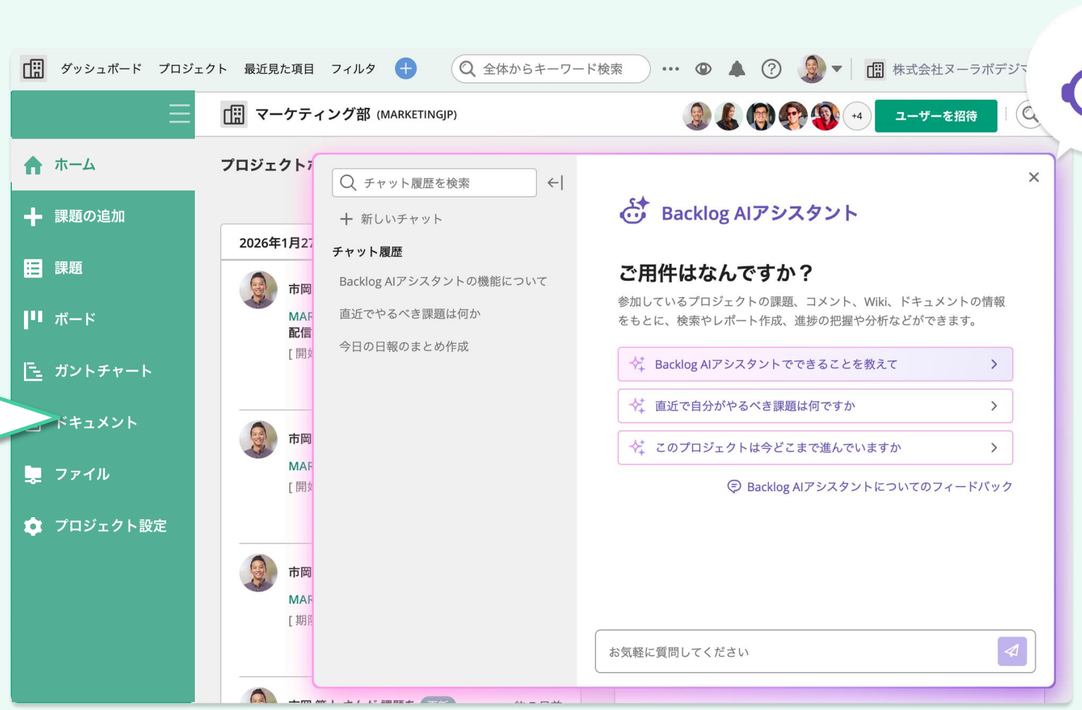


© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

チームの仕事を、前に進める
Backlog AIアシスタント

Backlogに蓄積された情報をもとに、日々の業務判断と進行を支援！
（入力・出力データは学習に利用されません）





- 課題の作成、要約
- ナレッジ検索
- プロジェクトの状況整理
- レポート生成
- メンバーの課題進行状況
- 評価準備 など

※Backlog AIアシスタントの利用条件等、詳細はこちらをご覧ください。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

その他の便利機能



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

その他便利機能
01

ドキュメント

オペレーションなどのマニュアル作成、会議の議事録、個人のメモなどナレッジを蓄積

使い方は自由自在

- 複数人での同時編集が可能
- 文字の装飾や絵文字など、リッチテキストで直感的に操作
- ファイル添付、コードブロックの挿入、各種埋め込みなどに対応
- 自動保存ができ、変更履歴の確認が可能
- PDFやHTML、Markdown形式のファイルで出力



Backlog AIアシスタントと連携し、要約や作成・削除も可能！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

その他便利機能
02

ファイル共有・
ソースコード管理

ファイル管理、ソースコード管理に必要な機能がオールインワン



ファイル管理

- メンバー全員でファイルを共有できます。
- 「容量が大きすぎてメールで送れない」「ファイルをアップする場所がない」など、ファイル管理に関する悩みも解決できます。

大きなファイルも簡単に共有



ソースコードとバージョンの管理

- インストールや面倒な設定は不要。すぐに使い始められます。
- バージョン管理システムは Git もしくは Subversion を選択できます。
- プロジェクトごとに違うバージョン管理システムも使えます。

外部リポジトリとの連携も可能

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

その他便利機能

03

外部サービスとの連携

使い慣れているサービスと連携できるから、作業効率がグッと上がる！

Microsoft Teams

Backlogの更新をTeamsで受け取る、TeamsでBacklogの課題の追加ができます。

Slack

Backlogの更新をリアルタイムにSlackで受け取ることができます。

Chatwork

Backlogの更新をリアルタイムにChatworkで受け取ることができます。

Redmine

RedmineデータをBacklogに移行して、チームの共同作業とプロジェクトの進捗管理を改善します。

Jira Software

Jiraデータ をBacklogに移行して、チームの共同作業とプロジェクトの進捗管理を改善します。

Jenkins

新しいコードを継続して連携するためにBacklogをJenkinsに接続します（日本語でご利用できます）。

webhooks

Backlogで発生したイベント情報をWebhookでリアルタイムに指定されたURLへHTTP　POSTできます。

iCal同期

Google、Apple、Outlookのカレンダーとプロジェクトのマイルストーンを同期させ、期限日を把握します。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

多くの企業様に導入いただいています

TOYOTA
経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
SEIBU Lions
よろこびがつなぐ世界へ KIRIN
東急
東洋経済新報社
西日本新聞社
MUFG 三菱UFJ銀行
FFG 一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。
TOPPAN
JINS
Blue Forever EDWIN
地球とつながるよろこび。YAMAP
KOBE
SKY SKYMARK AIRLINES
STARFLYER
北のくらし、もっとできること KITAGAS
KDDI KDDI Web Communications

BOXIL Good Service Autumn 2025

スマートキャンプ株式会社主催
BOXIL SaaS AWARD Autumn 2025
プロジェクト管理・工数管理部門
「Good Service」

ITreview 5 Years LEADER 2026 Spring

ITreview Grid Award 2026 Spring
プロジェクト管理ツール部門
「Leader」5年以上連続受賞

ITreview LEADER 2026 Spring

ITreview Grid Award 2026 Spring
プロジェクト管理ツール部門
タスク管理ツール／ToDo管理部門
コラボレーションツール部門
業務可視化ツール部門
「Leader」

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

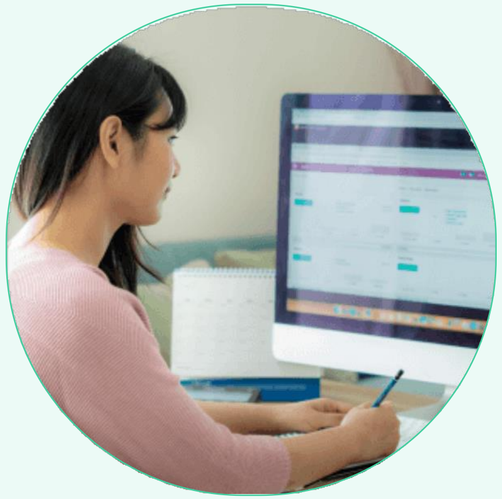
まずはお問い合わせください！

まずは
体験してみませんか？



無料トライアルはこちら

無料説明会も開催中



お申し込みはこちら

お気軽に
お問い合わせください



お問い合わせはこちら

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年 3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.